

# 環境報告書 2018

Enviromental Report 2018

クリーンで住み良い地球環境の実現

BASF INOAC ポリウレタン株式会社

## CONTENTS

- P1. ごあいさつ 会社概要 売上推移
- P2. 企業理念 環境方針
- P3. 環境への取組 環境組織体制 2017年活動結果
- P4. 廃棄物削減活動 省エネルギー推進活動 大気汚染負荷の低減活動
- P5. 化学物質管理 エコ商品開発例
- P6. 社内環境活動 緊急事態の訓練 環境コミュニケーション
- P7. グループ会社との交流



地球環境の保全は、全世界人類にとって喫緊の課題であり、弊社においても全社一丸となり、個人一人一人のレベルで地球環境の保全に鋭意努力していかねばなりません。限りある地球資源を有効利用し、省エネルギー、リサイクルに常時努め、無駄な廃棄物を極力削減し、環境負荷の低減に努めてまいります。

私達は、全社を挙げて、開発、生産、廃棄の全ての段階で、環境保全活動に取り組んでおります。

代表取締役社長 井上 雅之

## 会社概要

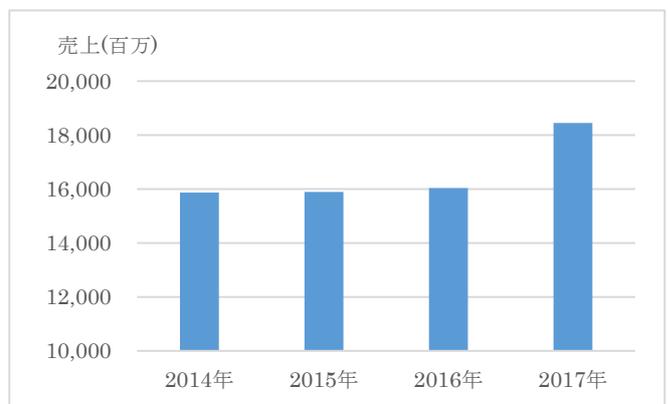
社名	BASF INOAC ポリウレタン株式会社
設立	1965年(昭和40年)11月1日
資本金	4億9509万2000円
出資比率	株式会社イノアックコーポレーション 50% BASF ジャパン株式会社 50%

事業内容	①ポリウレタン製品の製造加工販売 ②ポリウレタン発泡設備及び発泡技術の販売 ③ポリウレタン原料の販売 ④上記に附帯する一切の業務
従業員	147名(平成30年4月現在)

## 本社営業所

本社	愛知県新城市川田字本宮道 1-196 〒441-1347
東日本営業所	東京都品川区西五反田 2丁目 12番 19号 五反田 NNビル 4F 〒141-0031
西日本営業所	愛知県名古屋市中区丸の内 1丁目 17番 19号 キリックス丸の内ビル 3F 〒460-0002
東北営業所	宮城県仙台市青葉区五橋 1丁目 6番 2号 KJビル 9F 〒980-0022
札幌営業所	北海道札幌市白石区栄通 3丁目 5番 4号 〒003-0021
新城営業所	愛知県新城市川田字本宮道 1-196 〒441-1347

## 売上推移



## 企業理念

私達は、株主である㈱イノアックコーポレーションとBASFジャパン㈱の基本理念に基づき、環境方針を定め、全社で継続的な環境保全、改善活動に取り組み「クリーンで住み良い地球環境の実現」を目指します。

### ㈱イノアックコーポレーションの環境理念

イノアックは、環境と調和するテクノロジーと、環境を大切にする企業活動を通じて、かけがえのない地球の自然環境を尊重し、豊かな暮らしやすい社会の実現に貢献します。

### BASF ジャパン㈱の安全、健康、環境に対する責任

私たちは常に責任ある行動を取り、レスポンシブル・ケア を率先して遂行していきます。企業収益が、安全、衛生問題、および環境保護に優先されることは決してありません。

## 環境方針

1. 企業の社会的責任(CSR)として、法規制及び協定を順守し、継続的に環境保全、改善活動に取り組みます。
2. ポリウレタン原料、製品の開発、生産活動における環境目的、目標を定め全社でその実現に取り組みます。
3. 廃棄物の削減と省エネルギーを推進します。
4. 環境負荷の少ない原料を利用した、製品設計、生産を通じ環境汚染の予防に努めます。
5. 地域との環境調和を図るとともに、地域の環境保全、改善活動に積極的に参画します。
6. 環境教育や社内広報活動を通して、工場で働くすべての人への環境方針の周知と環境に関する意識向上を図ります。
7. この環境方針は、誰でも入手することができます。

## 環境への取組

ISO14001 は環境経営(環境パフォーマンス)の質的向上を実現する為の重要なシステムです。当社の生産するウレタン原料及びウレタン製品は自動車分野から住宅、土木、生活用品まで幅広い用途に活用されています。ISO14001 のマネジメントシステムを活用してそれらの整備と充実を図り、PDCAサイクルを活用して、環境改善活動を実施しています。

本報告書は特に断りがない場合は 2017 年 1 月～12 月の当社環境への取組・活動についてご報告いたします。

## 環境マネジメント体制

環境活動を組織的に推進するため、トップマネジメントによるレビューと環境管理責任者が環境に関する管理を行い、環境委員会など環境活動を行っています。2017 年に ISO14001:2015 年版への移行審査にて認証され、よりマネジメントに取り込まれる形への活動を行っています。

## 2017 年 活動結果

2017 年活動方針・目標	活動実績	結果
エネルギー消費量 前年比 2%削減(原単位)	△9%削減	○
産業廃棄物総排出量の削減 前年比 3%削減	△5.5%削減	○
BIP 高断熱材使用住宅着工棟数 25,000 棟 (住宅着工棟数は材料からの換算による数値です)	27,800 棟	○

○:目標達成 △:一部目標未達(前年よりは改善) ×:目標未達

- 1) 省エネ活動としては、主に製造部門の生産の効率化活動、本来業務の推進や、設備更新時に省エネタイプを選定するなどの継続的活動を実施し、原単位での削減をすることができました
- 2) 廃棄物では、一部有価物化できたことと、不良率を低下することができたため総量として削減することができました。
- 3) 2015 年版の環境マネジメントとしての取組みとして、本業である住宅の高断熱材を販売、提供することで、省エネルギーに貢献できていると考え、販売促進に全社一丸として取り組み目標を達成することができました。  
2018 年も引き続き環境への負荷を減らす活動に努めてまいります。

## 産業廃棄物削減活動

廃棄物削減活動の取組みとしては、ISO14001の環境改善活動の一環として廃棄物総排出量を削減するために目的目標を掲げ、PDCAを回して効果を上げてきております。

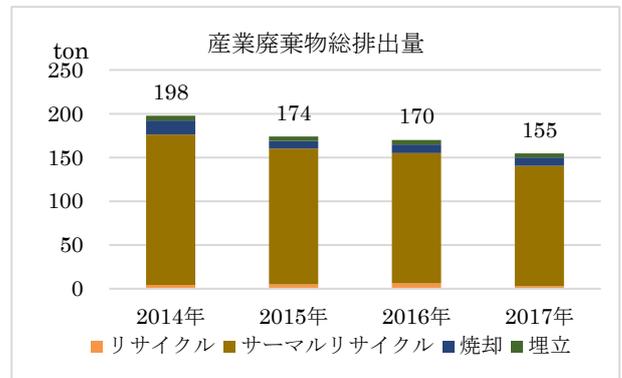
具体的には発生源対策として、原材料の歩留率の向上、不良率の低減、工程内発生物の低減、入口対策として梱包資材等の受入れ時の対策実施(再使用、再資源化容易な材質への変更、納入形態の変更等)、出口対策としてリサイクルおよびサーマルリサイクルの推進を図り、削減活動を進めております。

### ＜主なリサイクル・サーマルリサイクル用途＞

- ・廃プラスチックをRPF※1)に加工し、焼却炉の代替燃料として利用する。
- ・廃プラスチックを破砕圧縮しセメント工場焼成工程の助燃剤として使用する。
- ・廃プラスチックを焼却炉の代替燃料として投入し、排熱でタービンを回し発電利用する。
- ・廃油を混合エマルジョン※2)処理し、重油代替燃料として利用する。

※1) RPF…Refuse Paper&Plastic Fuel

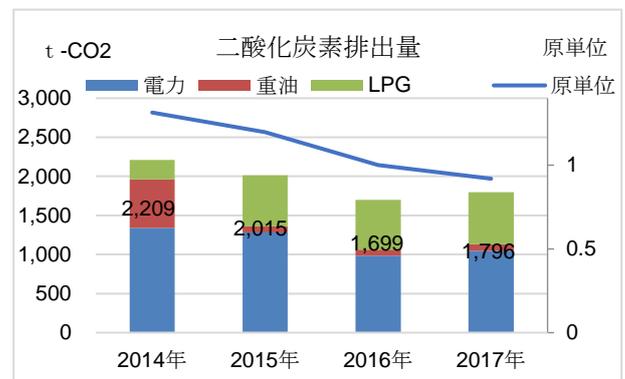
※2) 混合エマルジョン…複数の廃油を混合し、一定のカロリーを持つ燃料油に生成すること。



## 省エネルギー推進活動(二酸化炭素削減活動)

温室効果ガス(CO2)排出量の抑制として、生産性の効率化と設備の更新など省エネ活動を継続して推進しています。

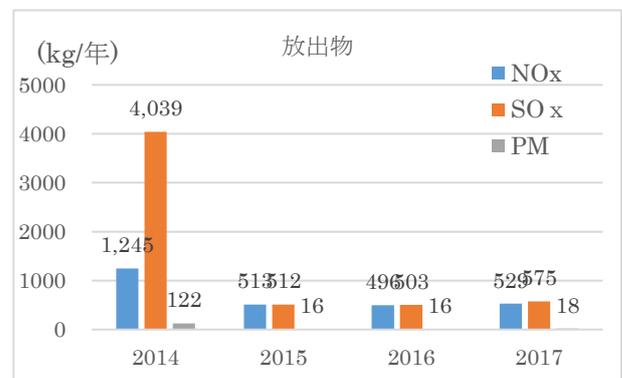
2017年は、約9%の原単位削減をすることができました。



## 大気汚染負荷の低減活動

大気汚染物質(NOx, SOx, PM)はボイラーで使用している重油を燃焼することで発生します。

2014年にEL事業部ではボイラーを重油からLPGを燃料とした小型タイプに更新し、(大気汚染防止法の規制対象外のばい煙発生施設。条例は対象)、大気汚染物質(NOx, SOx, PM)の排出抑制に努めています。



## 化学物質の管理

当社では、化学物質を1999年度分から使用量等を集計管理しており、法律により義務化された2001年度分からPRTR法の報告を行っております。PRTR法対応状況を表1に示します。今後も化学物質の適正な利用、排出量と移動量の把握と管理を推進していきます。

表1.PRTR届出対象物質

(期間:4月1日~3月31日) 単位:t/年

政令 No.	届出対象物質名称	取扱量		排出+移動量	
		2016年	2017年	2016年	2017年
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	3.3	2.8	0.0	0.0
277	トリエチルアミン	2.7	2.5	0.0	0.0
298	トリレンジイソシアネート	100	130	0.0	0.0
303	1,5-ナフタレンジイソシアネート	140	150	0.0	0.0
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	6.2	4.0	0.0	0.0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	2,000	2,100	3.5	2.6

※ 届出対象物質 :年間取扱量が0.5トン以上の特定第一種指定化学物質(特一)、及び、1トン以上の第一種指定化学物質(一種)

## エコ商品開発例

### フォームライト・エコ EB

**ENVIRONMENTALLY & BENIGN**  
~環境に優しい高品質吹付ウレタンフォーム~

**フォームライト・エコ EB**

**POINT① 環境対応**  
省エネルギー基準等厳格な値に要求される断熱材厚み  
※Ⅲ~Ⅴ地区のRC造の壁

**POINT② 施工性の向上**  
従来のノンフロント JIS A9526 A種1品に比べ、施工厚みを軽減すること  
が可能となり施工性が向上、工程の短縮化に貢献します。

**スプレーフォーム等の品質・性能**

項目	品質・性能	測定方法
原料粘度 (mPa・s/20℃)	90~1500	JIS A9526 <sup>2)3)</sup>
圧縮強さ (kPa)	100以上	JIS A9526 <sup>2)3)</sup>
熱伝導率 (mW/mk)	26以下	JIS A9526 <sup>2)3)</sup>
密着強さ (kPa)	100以上	JIS A9526 <sup>2)3)</sup>
透湿率 (ng/m <sup>2</sup> Pa)	4.5以下	JIS A9526 <sup>2)3)</sup>
燃焼性	難燃基準000以下 燃焼時間120秒以下	JIS A9526 <sup>2)3)</sup>
難燃性	難燃材料相当品	ISO-5680

フォームライト・エコ EBの熱伝導率 0.026W/m・K<sup>1)</sup>  
JIS A9526 A種1品の熱伝導率 0.034W/m・K<sup>2)3)</sup>

1) JIS A9526:2013 A種1)の準拠値  
2) JIS A9526:2005 B種1)の高熱断熱材を使用  
3) JIS A9526:2013 A種1)の準拠値

本データは、現時点における弊社の取扱い知識や経験に基づいたものです。  
原料の取換、安全衛生に係る詳細については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

地球温暖化係数(GWP)の低い第4世代発泡剤/HFO(GWP=1)を使用したノンフロントタイプの建築断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム「フォームライト・エコ EB」を2015年より全国販売を開始しました。

「フォームライト・エコ EB」は、ノンフロントタイプでありながら、HFC品と同等の断熱性能を有するため、従来のノンフロントタイプ(水発泡)に比べ、施工厚みを大幅に軽減することにあります。

## 社内環境活動

新城事業所では、簡単ですぐに取り組める省エネルギー対策、地球温暖化対策の一環として新城市の「年末年始コンセントオフ運動」に参加し、年末年始だけでなく、長期休暇にはコンセントオフ運動に取り組み、昼休みの消灯活動を継続しています。その他にアイドリングストップ活動の推進、敷地の緑化保全活動等に努めています。

サイト内環境保全の取り組みは従業員全員参加が不可欠です。また、その従業員の職場も環境に配慮しなければなりません。当社では快適な職場環境作りの推進と従業員の健康管理維持管理は環境保全活動の基礎的理念と考え推進しています。

## 緊急事態の訓練

事業所では、多種の化学物質を使用しており、マネジメントシステムなどで事故・緊急事態の特定を行い、火災や漏洩など環境汚染の予防及び拡大防止のため、定期的な訓練を実施するとともに、有事の備えより実際の訓練に努めています。

### ・H29.03 春の火災予防訓練

消火器操作訓練と通報訓練。

実際に119番通報訓練いたしました。



### ・H29.06 消防訓練

漏えい原料の回収作業と

被液者の救出救護の訓練



### ・H29.11 避難訓練

事前告知をせず、避難と安否確認実施の訓練



## 環境コミュニケーション

当社所在地、愛知県新城市の地元企業30社で構成する「新城労務対策協議会」及び「ISO14001認証事業所等連絡会議」では定期的に情報交換会を実施し、環境配慮を含めた相互啓発・見識を広めることを目的として開催されています。

### 火災・災害予防交流

火災や災害により、周辺地域への環境汚染に至らないための防災普及啓発活動として「新城市防火協会」への加盟をしています。法令の普及、災害予防・危険物等の安全貯蔵や取扱いの点検整備及びその他の防災研究など、地域のモデル事業所になるような活動を通し、企業間との連絡と協調を図り地域全体の防災につながる活動を行っております。

## クリーンキャンペーン(530 活動)

新城市では環境保全に対する意識の高揚を図るとともに、美しいまちづくりを進める取り組みとして「しんしろクリーンフェスタ」が開催され、地域参加活動として参加しています。

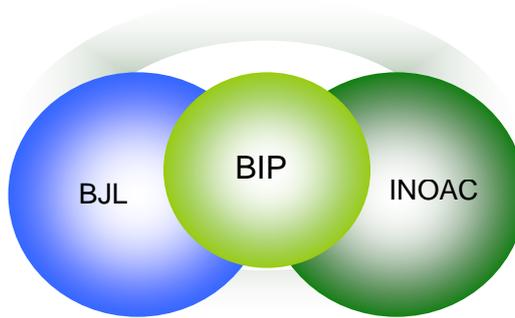
毎年、グループの組合活動としてソフトボール大会を開催していますが、本年桜淵公園で開催した際、参加された新城、八名両事業所の社員、ご家族の方全員でゴミ拾い活動を実施しました。



## グループ会社との交流

### BASFとの技術交流

世界的化学メーカーのBASF(ドイツ)と定期的に行われる技術交流会は、情報収集・交換の場となっています。特に環境に関する世界的な現状と動向を把握し、共通の認識のもとに世界環境保全に向けた企業活動が展開されています。



### 環境・安全へのグループ規則

株イノアックコーポレーショングループでは、安全や環境を配慮した細部に渡る規則があります。当社もこの規則を遵守するために、安全衛生委員会が設置され運営管理されています。また、定期的に総本部にあたる中央安全衛生委員会によるパトロールが実施され運営状態・設備の安全性や管理状態の点検が実施されています。

### BASF INOAC ポリウレタン株式会社

〒441-1347 愛知県新城市川田字本宮道1-196

本報告書に関するお問い合わせ先

本社 安全環境管理室

TEL 0536-23-5511 FAX 0536-23-0300



当社ホームページのご紹介

URL: <http://www.bip-jp.com>